

愛妻家の「聖地」を「掘り」まくる旅マガジン

TSUM/TABI

holy times

妻との時間をつくる旅
[ツマタビホーリータイムズ]



特集♥ジオパーク

2
2019 SUMMER

愛妻家の聖地
群馬県♥嬬恋村

孀恋村は、浅間山の息吹を感じるジオパーク・ビレッジ。 さあ、地球と妻の鼓動を感じながら、ワクワクの旅へ。



愛妻家バ聖地
群馬県♥孀恋村

「妻との時間をつくる旅」とは、
夫が妻に日頃の感謝や愛の気持ちを伝え、
妻孝行する旅のスタイル。

妻との時間をつくる旅

[ツマタビ ホーリータイムズ]

TSUMATABI holy times

CONTENTS

特集♥ジオパーク

お待たせしました!「ツマタビ・ホーリータイムズ」第2号です!
特集は「ジオパーク」。ひとことでは、大地の公園。
大地(=ジオ)の上に広がる、生態系(=エコ)の中で、
私たち人(=ヒト)は生活し、文化や産業などを築き、
歴史を育んでいます。「ジオパーク」では、
「ジオ」「エコ」「ヒト」の3つの要素のつながりを知りながら、
地球を丸ごと楽しむことができます。
2016年、群馬県孀恋村吾妻川流域以南と
長野原町全域を擁する「浅間山北麓ジオパーク」は、
日本ジオパークとして認定されました。
もちろんパークの主役は、浅間山。いつもは寡黙な山ですが、
これを読んで巡れば、とっておきの妻旅になります。

- 03 浅間山の大噴火から見えてくる鎌原の再生
ジオパーク探訪ルポ
- 05 発見あちこち、感動いろいろ
ジオパークマップ
- 07 寝ても覚めてもジオパーク
ジオパーク大好き自慢
- 09 ジオパークから学ぶオモシロ雑学
ジオパークトリビア
- 11 ジオパークを彩るオリジナルな文化
ジオパークカルチャー
- 13 愛の物語をちょっぴりのそき見
思い出の愛妻スポット
- 14 孀恋村のトレンド紹介
ススメ! オススメ孀恋!
日本愛妻家協会 事務局長代理 小菅隆太の
愛妻市場調査
- 15 ツマタビとタビ夫の妻旅劇場 / 孀恋かるた帖 /
孀恋昔話 / 地域おこし協力隊がゆく! / 孀恋人語

2

2019 SUMMER
第2号

くろふやま ほとけいわ まえかけやま
黒斑山、仏岩、前掛山。3つの山で、「浅間山」。

人類がアフリカ大陸から世界へ拡がり始めた10万年前、
浅間山の原型となる黒斑山が生まれます。

2万年前頃から火山活動が活発に発生、東側に仏岩が隆起します。

そして約1万年前、前掛山がグングン成長して、

今の浅間山のカタチになります。

約10万年以上の歳月を費やして、おなじみのフォルムになったのです。

最初は2800mあった標高は現在、2568m。

ちょっと小さくなりましたが、雄大なシルエット、

地質や自然の恩恵など、今では孀恋村にはなくてはならない存在です。

しかし江戸時代、浅間山史上最も人々に被害を生んだ大噴火が起こります。

壊滅的な状況から復興するために立ち上がった人たちが、

そしてこの大地から生まれた高原野菜の宝庫となるべく土壌。

それらすべてが「ジオパーク」にふさわしいストーリーを紡ぎます。

ぜひ、ご夫婦で巡ってください。最初に訪れるなら「浅間火山博物館」がオススメ。

3つの山で「浅間山」になった経緯が分かりやすく学べ、

ジオパーク巡りにふさわしいスタートになります。

GEOPARK REPO

ジオパーク探訪ルポ

▶▶ CHAPTER 1 ◀◀

天明の大噴火

その噴煙は、
地球の成層圏まで上昇した

災害からの、復興。古くは大正時代に発生した「関東大震災」、首都東京が壊滅状態となった。やがて平成の世となり、私たちは「阪神・淡路大震災」、そして東北地方を襲った「東日本大震災」など、幾多も災害の恐ろしさを体感してきた。しかし、そこで驚くのは復興に向けた人々の遅しさだ。10万人以上が亡くなった関東大震災以降、2度のオリンピックを開催するほど、東京は世界を代表する都市となった。同じように、いずれ東北地方も真の復興を成す時がくるはずだ。自分たちが生まれ、育った故郷が災害で崩壊し、復興していく。そんな破壊と再生の物語を先達として、江戸時代に



天明の大噴火
所蔵：丸山良一 画像提供：浅間縄文ミュージアム

体験して現代へと伝えているのが、ここ嬬恋村である。江戸中期の1783年に起こった浅間山・天明の大噴火。噴火は旧暦の4月頃からはじまり、6月下旬からその頻度を増す。そして7月6日、激しい噴火と、高温の火山ガスに岩石が混ざり落下する火砕流が繰り返し発生、7月8日午前10時、噴火は最盛期を迎える。地球の成層圏まで上昇した噴煙は偏西風で流され、その風下では軽石や火山灰が激しく降った。山腹では火砕流や溶岩が流れ、北方へ約5.5km、その幅は最大2kmにもおよんだ。今や観光客で賑わう鬼押し出し園は、この時にできたものだ。そこでは、山麓まで流れ出た溶岩群を一目に見ることができ、236年前の噴火の足跡として、現代を生きる人の目に珍しい絶景となっている。天明の大噴火の迫力をもっともストレート



鬼押し出し園

に体感できる、ジオパークの旅に外せないスポットだ。そして、この大噴火は、やがて天明の大飢饉を誘発する一因となり、最終的には100万人以上の犠牲者を出す、近世最大級の飢饉に繋がってゆく。

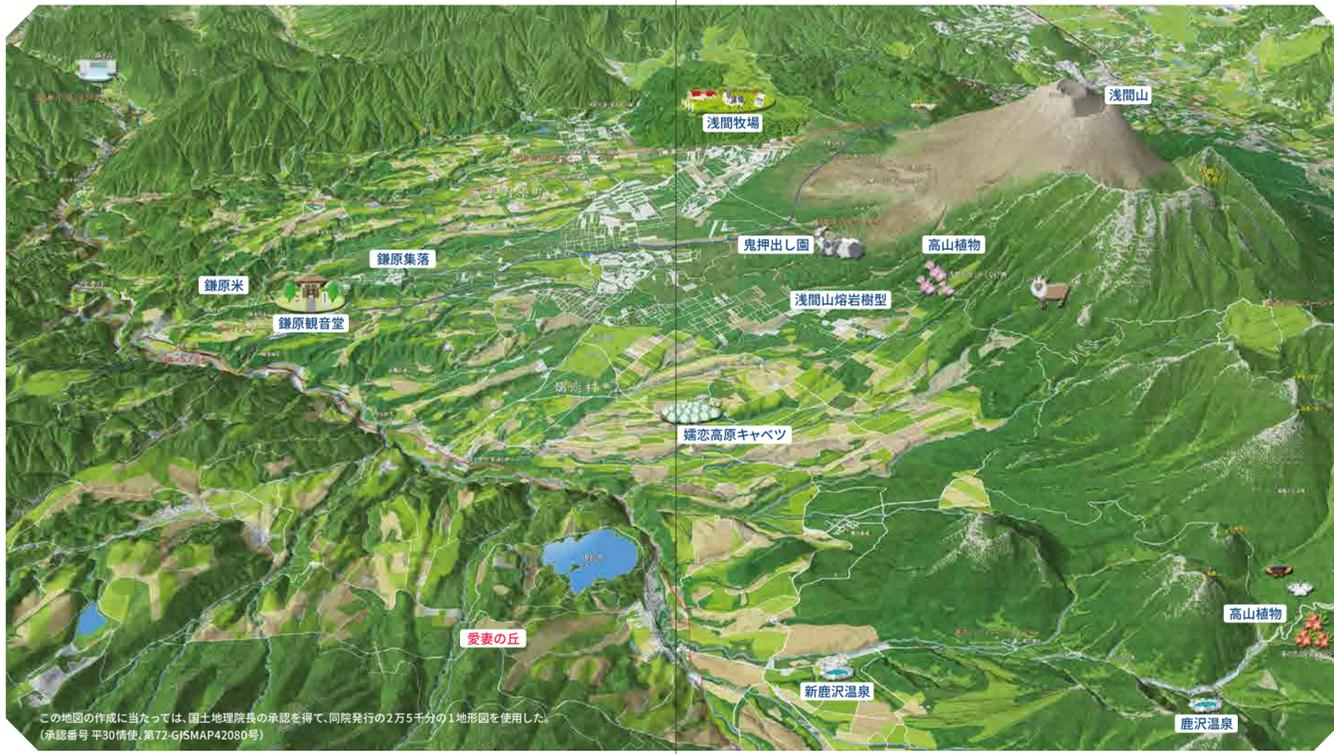
▶▶ CHAPTER 2 ◀◀

鎌原の壊滅

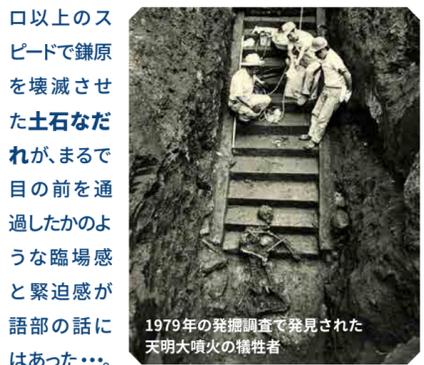
噴火後7分、
一瞬で477人の命が奪われる

現在、浅間山の北麓に位置する嬬恋村の鎌原集落。

天明の大噴火で最大の被災地になった。一瞬で壊滅状態になった集落で、唯一残った、奇跡の鎌原観音堂へ向かう。お堂の横にある通称おこもり堂では、毎日、噴火当時のリアルな様子を聞くことができる。お茶をご馳走になりながら、じっくりと話に耳を傾ける。ひっそりと落ち着いた空間、語部が話し出す。『鎌原は天明の当時、宿場町として繁栄していました。しかし大噴火で最大の被害を受けたのです。7月8日の午前10時頃、岩石を含んだ土石なだれが時速100キロ以上の猛スピードで襲いかかり、この辺りを一瞬で丸呑みにしました。12kmも離れた浅間山からわずか7分で鎌原にやってきたといえます。その中で唯一無事だったのが、もっとも高台にあった観音堂でした。そこに逃げ込めた人は命が助かりましたが、村民570人の80%以上にあたる477人の尊い命が奪われたのです。ほぼ壊滅状態に陥り、宿場町として賑わっていた鎌原は一転、悲劇の鎌原へと変わったのです。』現代のように携帯もパソコンもない時代、なんの通信手段もない中、100キ



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。(承認番号 平30情使_第72-GJSMAP42080号)



1979年の発掘調査で見つかった天明大噴火の犠牲者

ロ以上のスピードで鎌原を壊滅させた土石なだれが、まるで目の前を通過したかのような臨場感と緊迫感が語部の話にはあった…。

噴火で流れ出た火砕流は、鎌原に襲い掛かった一方で、その手前に位置する江戸幕府直轄の森林に

も向かっていった。巨木の幹をつつみ込むようにして流れ、その火砕流は冷えて固まり、やがて木は焼失。木の幹の跡が垂直の穴となって1000個以上残された。大きいものでは、直径約1.6m、深さは6mにもおよぶ。これは、浅間山熔岩樹型といわれ、地学現象として世界的にも珍しい。溶岩ではなく火砕流からできたのは、なんと世界にここだけ。噴火の爪痕をいまでも知ることができる貴重



鎌原観音堂とおこもり堂

大噴火で壊滅、そして新生。火山と人々が紡ぐ、奇跡の物語

な場所であり、大噴火が起きた事実がより強く身に迫ってくるだろう。さて、鎌原観音堂に逃げ込み、生き残った93人の人々。一瞬にして畑や家、そして大切な家族までを失い、未来が閉ざされてしまったのです。これから、何を頼りにどう生きていくべきか。生き残った人たちの復興に向けた物語がはじまります。



浅間山熔岩樹型

にわたり温泉を引く工事を自費で興す。その賃金は人々の命をつなぎ、鎌原復興の大きな柱となる。また、江戸幕府による多額の資金援助も復興の後押しとなる。しかし最も困難だった復興作業は、家族の再生だった。当時の農民たちは家筋や素性にこだわり、相手によっては挨拶の仕方などにも差別があった。たとえば金持ちになっても、由緒ある家柄でなければ、座敷にも上げないこ



鎌原米の収穫

ともあったのだ。しかしまたもや黒岩長左衛門らがリーダーシップを発揮する。「大災害に遭って生き残った93人は、お互いに血のつながった一族だと思わなければいけない」と宣言し、家筋や素性の差別の垣根を取り払ったのだ。生存者93人の中で、夫を亡くした妻と妻を亡くした夫とを再婚させたり、子を亡くした老人に親を亡くした子を養子として養わせるなど、93人全員を一族としてまとめ直し、その門出を祝った。こんな

家族の再生は世界的にも異例であり、遅き民衆の知恵が発揮された好例である。災害からの復興を個人任せにせず、共同体全体で進める姿勢。さらに地域の有力者が、私財を投げ打って復興に尽力する。行政(この場合は江戸幕府)と、地域リーダーと、集落(地域社会)が一致協力することで復興は加速する。これは昔も今も、基本的には変わらないと思う。命をつなぎ、家族をつなぎ、人口も増え、かつての鎌原が完全復興を遂げるのは明治時代に入ってからのこと。実に百年以上かかって再生した。家族をも再生させた鎌原の復興は、その範囲を超えて「新生」といったほうが適切かもしれない。そしていま、鎌原

では、もう一つの「新生」の証が誕生している。一度壊滅した大地から、国際コンクールで金賞を受賞するほどのおいしいお米「鎌原米」がすくすくと育っているのだ。かつての人々は、石だらけで水がたまらない大地の上に他の場所から粘土質の土を運んだ。天明の噴火で湧いた温泉はいつしか冷え、それを鎌原用水として引っ張った。その大地と水から、戦後、新しい田んぼがつくられ、お米が実る大地に生まれ変わる。過酷な条件を克服する知恵と努力。嬬恋村民のタフさがここにも垣間みえた。



現在の鎌原地区

▶▶ CHAPTER 4 ◀◀

嬬恋村のいま

浅間山の恩恵が育んだ、
嬬恋村の輝ける大地

日本一の生産量を誇るキャベツの村、嬬恋村。村のそこかしこにあるキャベツ畑が生まれたのも、浅間山のおかげだということはあまり知られていない。天明の大噴火をはじめ、かつての浅間山の噴火で流れた溶岩や火山灰がデコボコだった大地をなだらかにし、キャベツをはじめとする瑞々しい高原野菜が育つ土壌になった。さらに、その大地の上に、彩り豊かな高山植物が生い茂り、広大な牧場が開かれ、温泉も湧き出す。人々の笑顔が生まれている。浅間山の大きな恵みを受けて生きる嬬恋村。まさに夫婦のように寄り添いなが



嬬恋高原キャベツ



愛妻の丘

ら、ともに次なる未来へと歩んでゆく…。浅間山からはじまるジオパークの旅。ぜひ、ご夫婦で村の魅力を満喫してみてください。妻旅のシンボルスポットである愛妻の丘では、そんなジオパークを美しく一望することができますよ。さあ、地球と、そして人々から新鮮なエネルギーをもらいながら、素敵な思い出づくりを。

▶▶ CHAPTER 3 ◀◀

復興より新生

命をつなぎ、家族をつなぎ、
その地は生まれ変わる

江戸時代、鎌原の復興は凄まじいスピードで行われた。まず近隣にある大笹集落の名主・黒岩長左衛門らがリーダーとなり、敏速に救援に乗り出した。生存者を自宅に収容し、炊き出しを行った。さらに、黒岩氏は、農作物がつかれない状況の中で、被災者に仕事をつくった。天明の大噴火を機に鬼押し出し溶岩の末端に湧いた温泉に目をつけ、大笹村へ6km

GEOPARK MAP

ジオパークマップ

火山の勇猛さを巡る、その大地に営まれた人々の暮らしを巡る。

さまざまな妻旅が楽しめる「浅間山北麓ジオパーク」で、ご夫婦の思い出づくりを。

MAP 2 かんばら 鎌原観音堂

日本のボンベイとも呼ばれる、鎌原集落。江戸中期、浅間山の噴火で集落は壊滅。未曾有の災害の中で唯一残ったのが、今も残る「鎌原観音堂」です。その観音堂で先祖代々、語り継がれてきたことは鎌原再生の物語。2011年の東日本大震災の際、あの池上彰氏が復興の参考にと、その物語を聴きに来るほどでした。ぜひ、ご夫婦で耳を傾けてみてください。

【住所】群馬県吾妻郡嬭恋村鎌原492 [TEL]0279-97-3852



MAP 3 嬭恋郷土資料館

ぜひ「鎌原観音堂」とセットで訪れてください。必見は、浅間山大噴火のジオラマ！いかに大規模で恐ろしい噴火であったかが、ゾクとするほどリアルに伝わってきます。ガイドさん(要予約)の話を聞きながら周れば、まるで江戸時代の噴火当日にタイムスリップしたかのような。大自然の恐怖、伝わります！

【住所】群馬県吾妻郡嬭恋村鎌原494 [TEL]0279-97-3405
【開館時間】9時～16時30分(最終入館16時)
※水曜休館(7～8月は無休)

MAP 4 おにおしだし 鬼押し出し園

この世にない風景、それを創り出すのは地球です。1783年の浅間山大噴火で生まれた溶岩が当時のまま残った景勝地「鬼押し出し園」。一面に広がる猛々しい岩石の海、間近で見える凄まじい火山のパワー。その絶景が世界を巡り、愛妻家のジョン・レノン夫妻も生前来園したことで、世界的にも有名になりました。ぜひご夫婦で目に焼き付けてほしい場所です。

【住所】群馬県吾妻郡嬭恋村鎌原1053 [TEL]0279-86-4141
【営業時間】8時～17時 ※年中無休



MAP 6 ようがんじゅけい 浅間山熔岩樹型

浅間山の噴火による火砕流が森を通過する際、樹木を取り囲むように流れました。やがて樹木は焼失、そのまま垂直の空洞となり、不思議な穴として残りました。それが、浅間山熔岩樹型です。大きい穴では直径約1.6m、深さ6m以上のものもあります。また穴の中にはヒカリゴケが発生、幻想的な空間を見ることがも。火山活動が生み出した、世にも珍しい地中のブラックホールです。

【住所】群馬県吾妻郡嬭恋村鎌原1053-2849 [TEL]0279-97-3405(嬭恋郷土資料館)



MAP 8 くらふやま 黒斑山 トーミの頭

登山好きのご夫婦にオススメなのが、黒斑山。特に途中にある人気の展望スポット「トーミの頭」からの眺望は絶景です。目の前に迫るダイナミックな浅間山の雄姿には、きっと息を飲みます。二人のステキな思い出の一枚も、必ず撮っておきましょうね。

登山についてのお問い合わせ：高峰高原ビジターセンター 【住所】群馬県吾妻郡嬭恋村鎌原 [TEL]0267-23-3124 ※4月～10月開設

MAP 1 浅間山

嬭恋村の、ジオパークの主役「浅間山」。今号の特集に掲載されていることはすべて、この山につながります。富士山のように、山頂に太陽が重なる「ダイヤモンド浅間」や、水面に映る「逆さ浅間」など、変幻自在の表情を楽しむもよし。火山と共に営まれてきた、嬭恋村の歴史を辿るもよし。地球や人類の見方を、ちょっと変えてくれる、嬭恋村のシンボルです。

浅間山についてのお問い合わせは下記にある各エリアのインフォメーションセンターへ



MAP 12 万座の空吹

硫黄の含有量は日本屈指、標高1800mにある雲上の万座温泉。そこにある興奮のジオスポットが、万座の空吹(からぶき)。水蒸気を含む火山性のガスが岩場から吹き出します。勢いよく、絶え間ない火山の呼吸を間近で目撃。普段は感じられない生命力あふれる「生きた火山」のチカラを体感してみましょう。

【住所】群馬県吾妻郡嬭恋村千俣万座温泉 [TEL]0279-97-4000 万座温泉観光協会



MAP 11 石樋の滝

屋根を流れる雨水を集めるのは「雨樋」ですが、こちらは「石樋」。300m続く火山岩の石畳の上を清流が流れ、その先にカワイイ滝があります。滝壺も深くないので、水遊びが楽しめるスポットとしても大人気。キレイな水にしが生息しない、ハコネオオサンショウウオもレアキャラとして大注目。ジオパークの癒しスポットです。

【住所】群馬県吾妻郡嬭恋村千俣宇熊四郎山



MAP 13 吾妻峡

色鮮やかで美しい大渓谷で、特に紅葉シーズンの景観は圧巻です。新緑あふれる春や、秋の紅葉シーズンには、ハイキングスポットとしてもオススメ。地球が生んだ第一級のアートを、ご夫婦で心に焼き付けましょう。

【TEL】0279-82-3013(長野原町産業課)



MAP 14 鹿沢温泉

発見は大化の改新の少し後、650年頃。千年以上の歴史があるといわれている鹿沢温泉。長野から鹿沢に至る街道沿いには、旅人の安全を願う道しるべとしてつくられた百体の観音像が約110mおきに立っています。嬭恋村にある観音像は、82番から100番の観音様が鹿沢温泉に。歴史物語あふれる温泉で地球を感じてください。

【住所】群馬県吾妻郡嬭恋村鹿沢温泉(休暇村嬭恋) [TEL]0279-98-0511



MAP 15 八ッ場ふるさと館

2020年3月完成予定の八ッ場ダム近くにある道の駅。レストランや売店、農産物市場やコンビニ、さらに雄大な山々を見ながらの足湯ものんびりと楽しめます。ジオパークに関する情報もココでゲット。名物「八ッ場ダムカレー」は、ぜひご賞味あれ！

【住所】群馬県吾妻郡長野原町林1567-4 [電話]0279-83-8088
【営業時間】9時～18時



MAP 16 大笹の関所

江戸時代、「大笹」は群馬県と長野県を結ぶ街道の要所であり、宿町として大繁栄しました。「東海道中膝栗毛」の作者として有名な十返舎一九もここに泊まったとか。そのかつての賑わいを現在に伝える関所です。関所近くには、昔の街の雰囲気を感じられる建物も残されています。

【住所】群馬県吾妻郡嬭恋村大笹322 [TEL]0279-97-3405(嬭恋郷土資料館)



MAP 9 高山植物

文庫サイズの高山植物図鑑が中年を中心に密かなブームになっているとのこと。単に野山を散歩するより、知的好奇心を刺激しながらがいいかもしれません。浅間山が生んだ大地には、5月の「シャクナゲ」、6月の「レンゲツツジ」など、さまざまな高山植物がたくさん咲いています。ぜひ、図鑑を持って周ってください。



MAP 11 いしどい 石樋の滝

屋根を流れる雨水を集めるのは「雨樋」ですが、こちらは「石樋」。300m続く火山岩の石畳の上を清流が流れ、その先にカワイイ滝があります。滝壺も深くないので、水遊びが楽しめるスポットとしても大人気。キレイな水にしが生息しない、ハコネオオサンショウウオもレアキャラとして大注目。ジオパークの癒しスポットです。

【住所】群馬県吾妻郡嬭恋村千俣宇熊四郎山



MAP 10 浅間牧場

浅間牧場は、抜群の開放感と見晴らしを誇る800ヘクタールの大牧場です。昭和初期に大ヒットした歌謡曲『丘を越えて』は、この牧場がモデル。名物「ジョッキ牛乳」はしぼりたてで濃厚な味わい。ぜひお試しを！

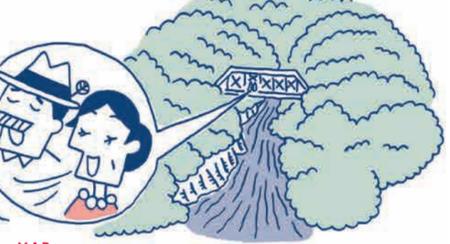
【住所】群馬県吾妻郡長野原町大字北軽井沢2032-23 [TEL]0279-84-2074 [開場時間]8:30～17:15
条件等：一部遊歩道への立ち入りには、牧場認定ガイドの同行が必要です



MAP 12 万座の空吹

硫黄の含有量は日本屈指、標高1800mにある雲上の万座温泉。そこにある興奮のジオスポットが、万座の空吹(からぶき)。水蒸気を含む火山性のガスが岩場から吹き出します。勢いよく、絶え間ない火山の呼吸を間近で目撃。普段は感じられない生命力あふれる「生きた火山」のチカラを体感してみましょう。

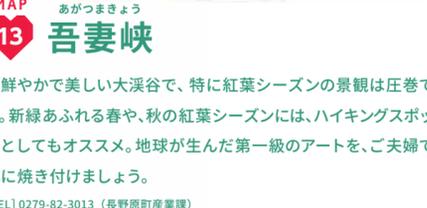
【住所】群馬県吾妻郡嬭恋村千俣万座温泉 [TEL]0279-97-4000 万座温泉観光協会



MAP 13 吾妻峡

色鮮やかで美しい大渓谷で、特に紅葉シーズンの景観は圧巻です。新緑あふれる春や、秋の紅葉シーズンには、ハイキングスポットとしてもオススメ。地球が生んだ第一級のアートを、ご夫婦で心に焼き付けましょう。

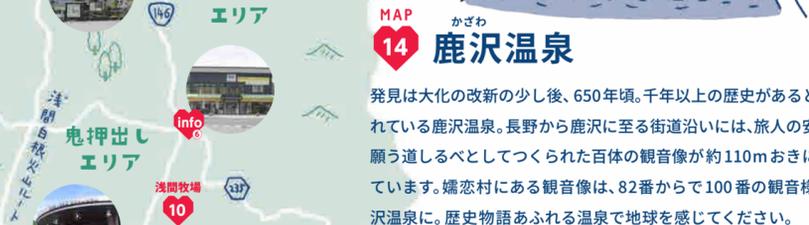
【TEL】0279-82-3013(長野原町産業課)



MAP 14 かざわ 鹿沢温泉

発見は大化の改新の少し後、650年頃。千年以上の歴史があるといわれている鹿沢温泉。長野から鹿沢に至る街道沿いには、旅人の安全を願う道しるべとしてつくられた百体の観音像が約110mおきに立っています。嬭恋村にある観音像は、82番から100番の観音様が鹿沢温泉に。歴史物語あふれる温泉で地球を感じてください。

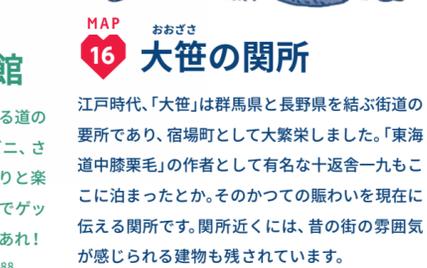
【住所】群馬県吾妻郡嬭恋村鹿沢温泉(休暇村嬭恋) [TEL]0279-98-0511



MAP 16 おおざさ 大笹の関所

江戸時代、「大笹」は群馬県と長野県を結ぶ街道の要所であり、宿町として大繁栄しました。「東海道中膝栗毛」の作者として有名な十返舎一九もここに泊まったとか。そのかつての賑わいを現在に伝える関所です。関所近くには、昔の街の雰囲気が感じられる建物も残されています。

【住所】群馬県吾妻郡嬭恋村大笹322 [TEL]0279-97-3405(嬭恋郷土資料館)



info インフォメーションセンター

「浅間山北麓ジオパーク」の詳しいご案内、各スポットの紹介は下記の各エリアにあるインフォメーションセンターで承ります。ジオパークガイドさんの予約受付も行っています。お気軽にお問い合わせください。

info① 総合インフォメーションセンター 【住所】群馬県吾妻郡嬭恋村大字鎌原494-45 [TEL]0279-82-5566 [開館時間]9時～17時 info② 浅間山・浅間山博物館 【住所】群馬県吾妻郡嬭恋村鎌原1053-26 [電話]0279-86-3000 [営業時間]8時30分～17時(最終入館16時30分まで) ※定休日:水曜日(4月1日～11月30日) info③ 嬭恋郷土資料館 【住所】群馬県吾妻郡嬭恋村鎌原494 [電話]0279-97-3405 [営業時間]9時～16時30分(最終入館16時) ※定休日:水曜日(7月～8月は無休) info④ 嬭恋村観光案内所 【住所】群馬県吾妻郡嬭恋村大字鎌原710-136 [電話]0279-97-3721 [営業時間]8時30分～17時 info⑤ 鬼押し出し園 【住所】群馬県吾妻郡嬭恋村大字鎌原1053 [電話]0279-86-4141 [営業時間]8時～17時(季節時間有) info⑥ 鹿沢インフォメーションセンター 【住所】群馬県吾妻郡嬭恋村大字田代2134 [電話]0279-80-9119 [営業時間]8時～17時 ※定休日:月～水曜日(12月～翌3月は無休、4月～11月までは無休) info⑦ 道の駅八ッ場ふるさと館 【住所】群馬県吾妻郡長野原町林1567-4 [電話]0279-83-8088 [営業時間]9時～18時 info⑧ 高峰高原ビジターセンター 【住所】群馬県吾妻郡嬭恋村鎌原 [電話]0267-23-3124 [営業時間]8時～17時 info⑨ 万座せん情報館 【住所】群馬県吾妻郡嬭恋村千俣万座温泉 [電話]0279-97-4000 [営業時間]9時～16時

GEOPARK LOVERS

ジオパーク大好き自慢

大地のようにゆるぎなく、マグマのように燃えたぎる。全身から噴き出るジオパーク愛を語ってもらいます。

ジオヨガ講師
AJYUさん



ジオヨガで みなぎる 無限のエネルギー!?

裸足になって、嬌恋の大地のエネルギーを感じる。土のにおい、風の流れ、鳥の声……。五感を総動員しておこなうのが、「ジオヨガ」です。室内開催が多いヨガですが、開放的な大自然と一体化しながらおこなうジオヨガは、自分の内面とより深く向き合え、デトックス効果もいっそう感じられます。ちなみに、ヨガには「つながる」という意味があります。心と体、人と大地がつながる。私にとっては、嬌恋村にきたばかりの頃、ジオヨガが村の人たちとつながるきっかけになりました。さあ、一緒にジオヨガを楽しみませんか?

LOVERS
2

浅間山

熔岩樹型は、 国宝級に貴重!?

浅間山熔岩樹型保護委員会 会長
土屋茂次さん

2008年、コテージを経営しながら、「浅間山熔岩樹型」を維持管理するボランティアを始めました。地元住民が集い、主に、落ち葉や土砂が侵入した箇所の除去活動を、毎年、定期的に行っています。本当は火砕流でできた樹型で、なんと世界にここだけの特別天然記念物。国宝級に貴重なんですよ!そんな浅間山熔岩樹型を保全しながら、次の世代へ伝えていかねばと思い、2018年からは見学ツアーを開催しています。「村の子どもたちに郷土愛をもってほしい」そんなきっかけになればという思いで、今後その魅力を守りながら、広めていきたいです。



LOVERS
5



鬼押し園ガイド
五十嵐亘孝さん

いまでも生まれ変わっている、 鬼押し園

一度は、溶岩で焼き尽くされた大地からあらたな自然が作りだされ、立ち上がろうとする瞬間を目の当たりにできること。そこに、鬼押し園のロマンと感動があります。植生は約500年で完全再生するといわれ、地球の時間軸でいうとほんの一瞬の貴重な営みにいま立ち会っているのです。1年中、園内の植物が成長したり、色彩もさまざまに変化したり、日々見るものが確かに生まれ変わる様子を感じられて、まるで飽きません。そして、まだ知らない「へえ〜」な魅力を追いかけて、人に伝え、広まっていくことは、ほんとうに楽しいですね。



LOVERS
7
鎌原観音堂 奉仕会 会長
鎌原郷司さん

おこもり堂で 語る記憶は、永遠に!

自然災害の多い国である日本の皆さんに、ぜひ知ってほしい話があるんです。1783年、浅間山の噴火で壊滅した鎌原集落で、唯一奇跡的に残った鎌原観音堂。そこにある「おこもり堂」では、鎌原地区の住民が1年中、ほぼ毎日交代で通い、参拝者に災害の記憶や教訓、復興までの真実のストーリーを語り継いでいます。どんな悲惨な大災害にあっても立ち上がる人間の素晴らしきパワーと絆。これは感動ものです。生の語りをぜひ聴きにきてください。

オカリナの 音色にも、 浅間山のパワー!?



LOVERS
6

オカリナ奏者
ボンヤミカコさん

私は、オカリナの演奏家として世界をまわりつつ、嬌恋村ではオカリナ教室も開いています。嬌恋村に移住してきて2年。浅間山にはいつも見守られている安心感がありますね。家からちょうど真正面のアングルで見えるんですが、私は、村内で一番いいポジションから見ているなって思います。朝は「おはよう」とか、演奏で海外に行くときも「いってきます」とか、自然とあいさつする間柄です。浅間山、そして嬌恋の自然のエネルギーは、私の演奏、作曲の発想にも役立っていると思いますね。

浅間山の 風景に、 恋しちゃってます!

LOVERS
8

嬌恋の広大な風景、落ち着いた自然環境に惚れ込み、約8年前に移住しました。もともとは東京の広告代理店で働いていましたが、いまは、風景写真専門のカメラマンにジョブチェンジ。浅間山をはじめ、四季折々美しい嬌恋の自然を撮影しています。浅間山って、すごくフォルムがカッコいいんですよ。そして何と言っても、キャベツ畑とかカラマツなどの風景と抜群に調和する浅間山が大好きなんです。まだ知らない新しい浅間山の魅力を探しに、これからも撮り続けていきますよ。



風景写真家
萩原俊哉さん

嬌恋村の新土産、 yamagashi 誕生!

はじめまして。私たち、嬌恋村の普通の主婦兼ものづくり集団の「妻の手しごと」です。yamagashiは、嬌恋村の新しいお土産物として、私たちが商品化したオリジナルクッキーで、嬌恋らしさとジオパーク感全開です。浅間山の溶岩「浅間石」やキャベツの「玉菜」など、まさに、現メンバー5人のように個性際立つ計5種類。味も、見た目も、ネーミングも、すべてに愛を込めて、こだわり尽くしました。5人でつくった初商品にして自信作。嬌恋を代表する土産物になること、狙っちゃってます!

ずっと守り抜きたい、 レンゲ ツツジ群落

日本でナンバーワン、圧倒的な数を誇る湯の丸レンゲツツジ群落。1956年には、国の天然記念物になりました。私たちの活動は、レンゲツツジの保全にとどまりません。ミヤマモンキチョウなど絶滅危惧種の高山蝶といった生態系を含む、湯の丸の貴重な自然環境そのものを維持するミッションに取り組んでいます。嬌恋にとって大切な魅力あふれる自然を、ずっと先の未来へ残し続けたい。その想いを胸に、今後も手をかけ、たくさんの方の愛を注ぎ続けていきます!

LOVERS
4

湯の丸レンゲツツジ
保存会 会長
下谷博さん



LOVERS
3

妻の手しごと



千川まゆみさん

安斉亜也子さん

松本とみさん

滝沢満里さん

千川由佳さん



GEOPARK TRIVIA

ジオパークトリビア

鬼棲む山か、慈愛あふれる山か。

「浅間山北麓ジオパーク」にまつわる雑学を集めてみました。

TRIVIA

1 神の化身が作った 鹿沢温泉

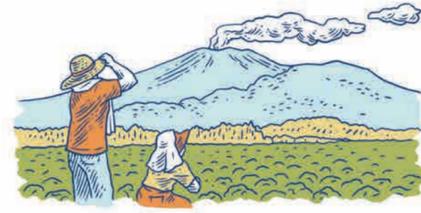
約1300年前、ある獵師がこの地の山中を歩いていると、全身白色の神々しい鹿に出会いました。あとを追いかけてと突然姿が消え、目の前には熱湯が湧きだしました。その湯煙に金色の御仏【薬師如来】が現われて「多くの人の病苦を救い、長寿に効く、靈湯にしたい」とお告げになられたといわれています。この伝説から名付けられたのが「鹿沢温泉」。ご夫婦そろって健康祈願に、仏様の靈湯へ。



TRIVIA

2 浅間山の煙をみれば、 天気がわかる？

浅間山の山頂火口から、モクモクと噴き出る煙。その煙が“東にたなびけば、翌日は晴天。北（嬭恋村方面）にたなびけば、悪天候”といわれ、いまま嬭恋村では浅間山を見て天気予報をするのだとか。浅間山を眺めるときは、煙の向きにも注目して明日の天気を予報してみましょう。



TRIVIA

3 鬼が棲んでいる 浅間山

浅間山には鬼が棲んでいる、といわれます。昔の人々は、噴火の恐ろしさを鬼に重ね合わせ、鬼が怒ると噴火が起こると考えました。浅間山北麓ジオパークの見所「鬼押し出溶岩」の名前も、江戸中期の浅間山大噴火で、鬼が大暴れして溶岩を「押し出した」ように見えたことから名付けられたといわれています。



TRIVIA

4 空飛ぶ、千トン岩！

とてつもない重量の岩でも宙に飛ばす、噴火のパワー。1950年(昭和25年)、浅間山の噴火によって噴出した巨大な「千トン岩」が、それです。実際の重さは、1000トンどころか3000トン以上ともいわれ、ゾウ1000頭分の重量。立入規制区域にあるため、残念ながら間近で見ることが叶いませんが、噴火口の目印にもなっています。



TRIVIA

7 浅間山が生んだ、世界のHONDA!

1956年から1959年にかけて行われた「浅間火山レース」。浅間山の大地は、バイクの耐久性能や走行性能を試すのに適しており、さまざまなチームが参戦しました。当初、Hondaは、このレースで惨敗。その雪辱をバネに改良を重ね、世界のHONDAへと躍進しました。日本のバイクの性能が一気に向上した、バイクレースの聖地。それも浅間山の持つ、もう一つの顔です。



TRIVIA

8 浅間山の恩恵、世界で 1%の超レアな土

嬭恋村に広がるキャベツ畑の、土の色。よく見ると、どこも真っ黒なことに気づくでしょう。これは浅間山の噴火から生まれた黒土で、踏むとボクボク音が鳴るため、正式には「黒ボク土」といわれます。世界でも1%しかない貴重な土で、保水性がよく耕しやすい畑作に適した土として重宝されています。

TRIVIA

5 上皇陛下も 歌を詠まれた浅間山

「開拓につくししら 訪ひ来れば 雲を頂く浅間山 見ゆ」。2003年、上皇陛下が軽井沢の大日向開拓地を訪れた時に詠まれた、御製(天皇陛下のお歌)です。おそらく皇太子の時代から浅間山の雄大な美しさに魅せられたおひとりなのでしょう。陛下の御心をも動かす名峰、それが浅間山です。

TRIVIA

6 浅間山に、松尾芭蕉もゾッコン!

いにしへの文化人たちに愛された、浅間山。古くは平安時代の「古今和歌集」に詠まれ、江戸時代では松尾芭蕉、小林一茶など、俳諧のスーパースターたちが句に挑みました。「吹き飛ばす 石は浅間の 野分かな」。これは芭蕉の「更科日記」にある句。風の音、石の転がる音が、今にも聞こえてきそうですね。



TRIVIA

9 嬭恋で、マンモスの祖先が闊歩?

約20万年前、この地には巨大な湖があり、学術的には古嬭恋湖といわれています。そして、マンモスの祖先、ムカシマンモスの仲間「シガゾウ」が闊歩していたといわれます。湖は、火山活動によって無くなってしまいましたが、大地の姿をも激変させる火山のダイナミズムに改めて驚かされますね。



TRIVIA

10 鎌原の人は、 歯がジョウブ!?

その昔、「鎌原集落の人は歯が丈夫」といわれていました。このエリアに流れる水には、歯を丈夫にするフッ素が含まれているため、普段からこのエリアの水を飲む子どもたちは明らかに虫歯が少なかったようです。



TRIVIA

11 浅間山の噴火で起きた、 フランス革命?

浅間山、天明大噴火の影響はすさまじく、空高く舞上がった噴煙は成層圏を覆い、北半球に冷害をもたらしました。その結果、ヨーロッパでは冷夏と厳寒の繰り返しで凶作が続き、飢饉に苦しんだ民衆が、1789年から始まるフランス革命を引き起こしたという説があります。日本を、世界を変えた、浅間山。自然の力は、歴史をも動かします。



TRIVIA

12 脅威のスピードで 鎌原集落を襲った土石なだれ

1783年の天明の噴火で鎌原集落を襲った土石なだれ。そのスピードは、時速100キロを超えたとされます。これはちょうど全速力のチーターほどの速さ。浅間山から鎌原までは12km。噴火からわずか7分、脅威のスピードで集落を壊滅させました。



GEOPARK CULTURE

ジオパークカルチャー

「浅間山北麓ジオパーク」をカラフルに彩る、オリジナルな文化。

おいしいグルメからいまに続く風習まで、ジオパークの魅力がいっぱいです。

CULTURE

1 「赤組 vs 白組」じゃない運動会？ 浅間団

運動会といえば、「赤組」、「白組」に分かれることで馴染みですが、嬭恋ではちょっとユニークな呼び方なんです。「浅間団」、「四阿団」、「白根団」、「榛名団」。「団」を「山」に変えてみればその由来がわかるでしょう。起源は戦後間もない頃だとか。さあ、今年は何のチームが優勝するでしょう…。



CULTURE

2 浅間山北麓ジオパーク期待のニューヒーロー！ あさマン

いまだその正体はベールに包まれている「あさマン」。どうやら、浅間山を陰ながら見守りつつ、浅間山北麓ジオパークの普及活動にもつとめる正義のヒーローらしい。愛くるしい見た目から人気はふつつつ上昇中で、オリジナルグッズも販売。浅間山山頂付近の「千トン岩」の上に住んでいるとの目撃情報もあるとか…!?



【Tシャツ】¥1500 【缶バッジ】絶賛無料配布 【キーホルダー】¥1500

CULTURE

3 目の前によみがえる、噴火の伝承 紙芝居「浅間山噴火大和讃」

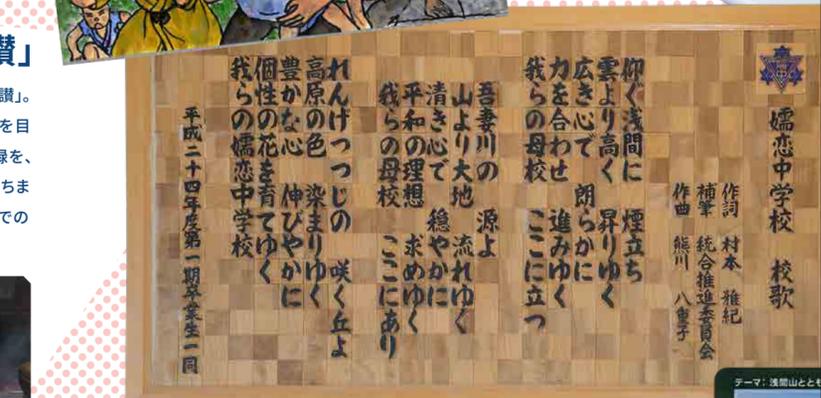
毎月、7日と16日に嬭恋集落で囃え継がれている「浅間山噴火大和讃」。天明の噴火で亡くなった人への供養と、いまある命に感謝することを目的に唱えています。この和讃の歌詞に記される浅間山大噴火の記録を、耳だけでなく、目で見てわかるように、とつくれた紙芝居です。たちまち当時の世界にタイムスリップしたかのように、噴火から復興までの物語がぐっと胸に迫ってきます。



CULTURE

4 浅間山と一緒に、大きくなった！ 嬭恋中学校の校歌

嬭恋村の中学校。校歌を見てみると、「仰ぐ浅間に煙立ち」。1行目からいきなり「浅間」を発見！目で見ると、声に出す、耳で聞く。知らず知らずのうちに、浅間山は体に染み付いている。嬭恋村民にとっての浅間山は、まさに母親のように身近で、小さい頃から愛がじっくり育てられていくんですね。



CULTURE

5 嬭恋再生のパワーフード みご団子

1783年の天明の大噴火で亡くなった人へ捧げるお団子。毎年、春のお彼岸の入りの日、嬭恋観音堂でひとつひとつ手作りします。当初は噴火の生存者から新たに家族が生まれた際の祝いの席でふるまわれ、嬭恋復興の原動力ともなりました。団子は、人の形をあらわしており、味はほんのり甘いんだとか。噴火の記憶を忘れないためにいまもつづいている大切な風習です。



CULTURE

6 鬼押し出し団の話題沸騰メニュー！ 鬼火山らーめん

浅間山を具材でユニークに表現した、味も見た目も楽しめる人気のラーメン。真っ赤なスープは「マグマ」、山盛りになる辛ネギは「浅間山」、青ネギは「噴火の煙」、コーンは流れ出た「溶岩」を表現。信州味噌ベースの旨辛スープは太麺によく絡み、味わい深い一品です！ジオパークの旅グルメにうってつけ。鬼押し出し団にご夫婦でぜひ！

嬭恋村の自然、文化、歴史をまとめ、その価値を子どもたちに伝える「嬭恋かるた」。その中で、次々に現れるのが、浅間山をはじめとするジオパークにまつわる札です！嬭恋村のあらゆるジオパークについて、これ一つで楽しくスライズ学べちゃいますよ。

製作：嬭恋村文化協会
読み札揮毫：下谷弘光(東雲)
絵札：松本勝彦



CULTURE

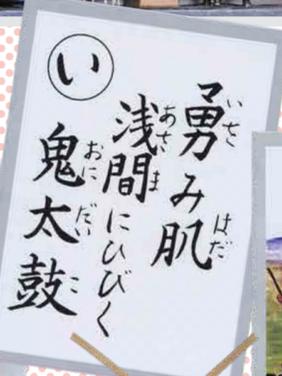
7 郷土の魅力は、ジオパーク尽くし！ 嬭恋かるた

天明の大噴火で嬭恋集落を襲った土石なだれ。水がたまらない土石の大地に壁土を運び、水を引き、あらたにつくった田んぼ。そこでうまれたお米が、なんといま、6000点も集まる日本最大のお米の選手権にて金賞を受賞！おいしさの秘訣は、高原特有の昼夜の寒暖差。深い甘みで、特に冷めてもおいしいと好評です。ここでしか買えないプレミアム米をどうぞご賞味あれ。



CULTURE

8 6000銘柄中ベスト10のお米！ 鎌原米



CULTURE

9 コレクター魂に火をつける ジオカード

アツ〜いカードコレクターのみなさんへ朗報！新時代令和、ひそかなブームを呼んでいる新カードをご存知ですか？ジオパークの魅力がコンパクトにまとまった「ジオカード」です。中には、勇心をくすぐるキラキラの「レアカード」も存在！嬭恋村では、3種類が入手可能。ご当地でしか入手できないカードを、いざゲット！



AISAI SPOT RECOMMEND

思い出の愛妻スポット

愛妻家の聖地・孀恋村で生まれた二人の物語。
いつまでも色褪せることのない愛の1ページを
覗いてみましょう。

四阿山に
二人で登って
愛も頂。



堀川ご夫妻
浅間山北麓ジオパークガイドの会
公認ガイド 堀川 英寛さん
妻 堀川 江津子さん



夫婦ゆかりの山で、ココロふるえる絶景へ。

♡ 僕たちがオススメするのは、「四阿山(あずまやさん)」。標高は2354mで、日本百名山にも数えられます。山名の由来は、伝説の愛妻家ヤマトタケルノミコトが亡き妻を偲び、叫んだというエピソード。夫婦に縁がある山なんです。僕たちが登ったのは、ゴンドラに乗って登るルートで、2時間ちょっとで山頂までいけます。なんといっても、その山頂からの眺め。これが、シビれるほどの絶景なんです。360度の大パノラマ。遠くを見渡せば、日本アルプス、中央アルプス、穂高連峰などの名峰に、浅間山。そして、眼下には、一面にキャベツ畑が広がる孀恋村。これらの景色をまるっと一度に楽しめるのが最高なんです。そこで食べるおにぎりの味は、言葉にできないおいしさですよ。登山ルートは、途中、結構細い箇所があったり、少し険しいところもあるんですが、そのスリリングな感じがかえって楽しめます。道もちゃんと整備されて歩きやすいです。どちらかというと、ハイキングに近く手軽に登れる山ですね。

♡ 頂上から少し下ったところに湧き水スポットがあるんですが、こんなところに湧き水があるんだ！って驚きました。登頂の達成感を感じながら、キーンと冷たく、おいしい水はこれ以上ない癒しになり、たちまち疲れも回復します。ペットボトルや水筒に入れて下山しながら飲むのもいいと思いますよ。あと、愛妻家ヤマトタケルノミコトをまつた祠にも訪れて、夫婦円満を祈るのもいいと思います。私は見かけませんでした。特別天然記念物のニホンカモシカにも出会えるとか…。足元には、

彩り豊かな高山植物もあって、道中は目にも楽しい。登るなら、緑豊かな夏がいいと思いますよ。

孀恋村で出会った、あたらしい私。

♡ 僕と妻の間には、ひとつ、正反対な部分がありました。それは、僕が「超アウトドア派」なのに対して、妻が「超インドア派」である、ということ。僕は、一人でどんな山登りをすれば、釣りもするし、自宅のリフォームなど、DIYにも夢中になる。そして孀恋の自然に一目惚れして、千葉からはるばる移住してきてるほどの、筋金入りのアウトドア好きです。一方、妻は、「外に出て一体何をやるの?」というくらい、スポーツや自然と無縁の生活を送っていました。そんな妻が変わるきっかけとなったのが、四阿山だったんだそうです。

♡ せっかく孀恋村にきたんだから、外に出て自然を満喫したいなと思ってたとき、夫に誘われたのが四阿山でした。結論から言うと、これがもう、散々で…。特別険しい山ではないのに、登山に不慣れなものあって、ツラくて…。夫は微笑みながら、「大丈夫」なんて言うもんですから、「どこが大丈夫なの!?!」と。内心プチっときながら、半ベそ状態で登りました。でも、意外なことに、このほろ苦い四阿山での登山を終えた後、山登りの楽しさにすっかりハマってしまったんです。これを機にほかの山にも次々に向かうようになって。いまでは、いろんな登山グッズにもわくわくして、こだわりも出始めています(笑)。みなさんも、四阿山で夫婦円満の素敵な時間を過ごしてみたいかですか?



PICK UP!

ススメ! オススメ孀恋!

今、孀恋村で最も旬な
「モノ・コト」をピックアップしてご紹介!



叫ばれビール

只者ではない男がチャレンジした、
「愛妻家の聖地」にふさわしい地ビール
1966年、孀恋村生まれの、黒岩修。この男、只者ではない。1997年、念願だった孀恋村でのビールづくり。自宅の畑で栽培した自家製ホップを原料に、たちまち美味しい地ビールをつくってしまう。さらに大好きな大工仕事の延長線上で、なんと地ビール製造所と、イタリアンレストラン「孀恋高原ブルワリー」を建ててしまう。店の看板や店内の暖炉も手づくり。修さんのモノづくりへの情熱、こだわり、そして「郷土愛」がいたるところにあふれているレストラン。冬季は休業ながら、春から夏の開店時は地元や県外の人たちが訪れ、いつでも賑わいをみせる人気店に成長した。訪れる機会があれば出会ってほしい、大きな石窯でピザを焼いているのが修さんだ。もちろん地ビールづくりも輸入ホップに頼らず、自家栽培からポトリングまで一貫生産する、こだわりよう。ほとんどの土産品は「軽井沢」と名付けて販売する中、あえて「孀恋高原ビール」と命名して販売。故郷・孀恋村への愛情も奥深い。そんな修さんが満を持してチャレンジしたのが、「愛妻家の聖地」にふさわしい地ビールだった。

発想の原点は「キャベチュー」。
愛の宿の大妻でつくった「叫ばれビール」
孀恋村「愛妻の丘」に夫が立ち「愛しているよ〜と、妻に叫ぶイベント「キャベツ畑の中心で妻に愛を叫ぶ」(通称:キャベチュー)。10年以上にわたり、毎年9月に開催される、世界も注目する孀恋村の風物詩です。そこでビールを振る舞っていた修さんは、あることをひらめきます。「日頃言えない妻への感謝や愛の叫びには、きっと素敵成分が含まれているに違いない。そんな男の勇気が降りかかった大妻をビールの原料とすれば、きっとピュアで力強いビールになるのではないかと」。ついに2017年、実行に移します。

まず「キャベチュー」に自家製の大妻を大量に持ち込んで、夫たちの愛の叫びをふんだんに注入。ホップの香りや苦味のきいたエールビール「叫ばれビール(ソウルフル・テイスト)」が誕生します。さらに翌年、そんな夫の姿を見た妻たちの感動の涙を大妻に注入した「叫ばれビール(ハートフル・テイスト)」を開発。フルーティーな香りでも飲みやすいと評判です。パッケージには「キャベチュー」ポスターのイラストを採用。ぜひ、夫婦やカップルで愛を語り合いながら飲んでほしい、修さん渾身の地ビール。「孀恋高原ブルワリー(Tel:0279-96-1403)」、村内のスーパーマーケットなどで絶賛販売中です!

AISAI COLUMN

日本愛妻家協会は、今年活動15年目を迎える。当初は昭和枯れすぎよしく、旧態依然とした日本男児の立ち居振る舞いによる夫婦温暖化の危機的状況を是正すべく発足したのだが、平成を経て令和を迎えたこの15年の間に、妻の社会進出や夫の家庭進出が急速的に進み、日本の夫婦像は様変わりしている。

愛妻家の稀少性について
も然りで、15年前にはその稀少性ゆえ生態が全く知られていなかったが、イクメンイクボスといった新しい価値観が市民権を得るに連れ、今では多様な愛妻家が散見される時代へと如実に変化してきた。

そんな時代を常に生きたたく見守ってきた協会に、今年大きな変化があった。活動をリードする次世代がこれまでになかなか台頭してこなかったのだが、自ら愛妻家を公言し、それぞれのフィールドで積極的な愛妻家善として振る舞うメンバーが突如として村内外から4人も現れたのだ。

その誕生を祝い、これまで私が名乗っていた主任調査員を新しい4人に託すことに決めた。次世代にバトンを渡したことで、代議が高まり、持続可能なエコシステムが動き出すことを期待している。



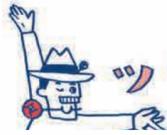
愛妻市場調査

日本愛妻家協会 事務局長代理 小窪 謙太

そうそう、今号の話題は愛妻家の聖地孀恋村の「ジオ」の話だ。孀恋村は「浅間山北麓ジオパーク」の名で知られる知る人ぞ知る地域。随所に浅間山に端を発した地球のエネルギーをその歴史とともに体感できる場所が点在している。言わずもがなジオパークは、地球という大地(ジオ)の上に広がる、動植物や生態系(エコ)の中で、私たち(ヒト)が生活し、文化や産業などを築き、歴史を育んでいるという視座から、「ジオ・エコ・ヒト」の3つの要素のつながりを楽しく知ることができるところという意味を持つ。

こうした自然の生態系をベースに作られた地域ゆえ、日本愛妻家協会といった新しい文化、ライフスタイルを発信する活動も、地元の共感者、地域外の様々なステークホルダーを巻き込みながら、持続可能な活動へと育て、発展させていくエネルギーに満ちあふれている事に彼の地を訪れる度に強く感じる。

タビ夫
頑張り屋だけど
オッチョコチョイ。
憎めない愛されキャラ



ツマ子とタビ夫の妻旅劇場

～ 鬼の国はダンスがお好き!?! の巻 ～

ツマ子
いつも笑顔で旅が
大好き。天真爛漫な
おてんばキャラ



嬌恋かるた帖



る
さえずる
り鳥
かもいりの道

夏期、鮮やかな瑠璃色が特徴的な小鳥
コルリは、標高800〜1500m
あたり、四阿山や芳座峠などの密林中
に多くみられ、ビュリ、ビュリ、ビュル
ルと甲高い美声で鳴きます。ニホン
カモカは牛の仲間。昭和30年に
特別天然記念物に指定されています。

嬌恋昔話

大厩 (おおうま)

一一九三年、源頼朝が鎌倉幕府を
開いた翌年に行った浅間山麓の
狩は、大掛かりなもので、頼朝の
お連れによって我も我もと狩場
へ馳せ参じた者の数は、莫大なる
であったといわれています。煙立つ浅
間山の山麓には、いたるところに
飯屋が設けられ、見物用の席など
も設けられました。中でも、今の
大前地区一帯は、おびただしい数
の厩(馬小屋)が建てられました。
頼朝の乗馬をはじめ各強者たち
の乗馬も皆ここにつながら、勇ま
しいいななきの声は隣村にも聞
こえるほどです。まじいものでし
た。その頃から、この地は「大厩」
と呼ばれ、いつしか「大前」へと変
わっていったのでした。

地域おこし 協力隊が ゆく!



こんにちは。神奈川県から、大自然と温泉
と野菜に憧れて移住してきた鈴木です。
嬌恋村に来て、観光振興を担う協力隊と
して日々活動しています。ジオパークは
自然の中の歴史を思っています。実
はそうではありません。ジオパーク「エ
コヒト」の3つの要素を知ってからは、
見るもの、食むものが、ますます、
「鬼出し」園のような自然の中に感じる
歴史もこの地で作られた有名なキャベ
ツや様々な食材も、嬌恋村で育った人
も、村が作り出した新たな商品も、ぜ
んぜんジオパークだと私は思っています。
そんな古き嬌恋を新たな嬌恋で甦らせる
ジオパークは、知れば知るほど奥が深い!
まだまだ底が知れない嬌恋村をキッと
凝縮した一冊をぜひお楽しみください。

嬌恋人語

はじめまして、嬌恋村役場観光商
工課の黒野秀樹です。2019年
の4月から「おてんば」をテーマに村
と向き合い、早く3ヶ月、改めて嬌
恋村は、愛妻の村なんだなあ。と
日々実感しております。毎年9月
に開催の「キャベツ畑の中心で妻に愛を叫
ぶ」をはじめ、今後は愛妻イベントが日押
しのこの村を、大に盛り上げたいけれど
と思えます。さて、ジオパークがテーマの今
号「ジオパーク」という思い出すのが、
小学生の頃、親が動いていた鬼出し園
によく行く「遊んだこと」そして大人にな
り役場に就職してからは、上水道、温泉用
水の管理を担当。休日大好きな温泉に
行くのも、振り返れば、自分が関わってきた
あらゆるものが、ジオパークだったこと
が、何より大きな発見でした。前回のキャ
ベツ特集に続き、嬌恋の魅力がふんばんに
詰まった「1冊」で、嬌恋のジオを全身
で感じながら妻旅をお楽しみください!

妻との時間をつくる旅 [ツマタビ ホーリータイムズ] TSUMATABI holy times vol.2

2019年7月22日(夫婦の日)発行
発行：嬌恋村役場 観光商工課
監修：浅間山ジオパーク推進協議会
制作：ASTRAKHAN
協力：(一社)嬌恋村観光協会、嬌恋郷土資料館、
日本妻家協会、長野県町営浅間園、坂口豪
【お問い合わせ】 嬌恋村役場 観光商工課
群馬県吾妻郡嬌恋村 710-136 嬌恋村観光案内所2階
tel:0279-82-1293 (ご意見・ご感想もこちらまでお寄せください)
【観光案内】 嬌恋村観光協会
群馬県吾妻郡嬌恋村 710-136 嬌恋村観光案内所1階
tel:0279-97-3721 受付時間：8時30分～17時15分(年末年始休業)



妻家町の聖地 群馬県 嬌恋村

～ 嬌恋村の観光スポット情報はコチラ～

妻旅 検索 www.tsumatabi.com



※本誌掲載の写真・文章を無断で複写・複製・転載することを禁じます。